

歯の治療メニュー制作ツール

■スタンダード版とアドバンス版の機能比較

メニュー短冊 189 枚 / 2024.4 現在

機能概要	スタンダード版	アドバンス版	
	MMaker_v1 & M321_v2	MenuMaker_v3	Menu321_v5
■編集機能	1 レコード編集方式	複数レコード同時編集方式	
1 価格欄 (3 段)	○	○	○
2 備考・タイトル欄	○	○	○
3 患者名・部位欄	Menu321 のみ○	×	○
4 分類名称欄	×	○	○
5 評価★記号欄	×	○	○
6 特徴原稿欄	×	○	○
7 画像データ欄	×	○※1	○※1
■パターン登録機能	○	○	○
■用紙設定 / 印刷	【MenuMaker】原稿サイズは A3 横 / A4 横出力は縮小印刷 ※2 【Menu321】原稿サイズは A4 縦 (共に出力用紙サイズは自由)		
■PDF 作成	Win PC は Microsoft Print to PDF ドライバーを選択 Mac PC は OS 標準装備の PDF 作成機能を利用 iPad は FileMaker Go 標準装備の PDF 作成機能を利用		
■バックアップ機能	○	○	○
■データインポート	○※3	○	○
■データ共有	×	△※4※5	△※4※5
■ネットワーク機能	×	△※4※5	△※4※5
※提案履歴保存機能	×	×	×
■説明シート (6)	Menu321 のみ○	×	○
■同意書作成機能	×	×	○
■保証書作成機能	×	×	○※7
■問診プログラム	×	×	○※7

▽注意事項：操作マニュアルに解説済みの内容も含めて、要点のみを記載。詳細確認はメニュー制作室へ。
 ■※1：部分編集はスクリーンショット。短冊全体編集にはアプリ (Photoshop 等) とスキルが必要。
 ■※2：プリンタドライバの設定次第。縮小機能の無いプリンタの対応も含め、PDF 作成が最適策。
 ■※3：メニュー短冊データ、および、パターン登録データは、アップグレード時にインポート可能。
 ■※4：データ共有・ネットワーク機能不可 / Standard 版のすべて、及び、Advanced ランタイム版ではネットワーク使用できません。LAN 環境を利用するネットワーク活用は、※5 を参照。
 ■※5：データ共有・ネットワーク機能可 / Advanced 版は、FileMaker Pro のネットワーク機能を活用して、サーバー機、または、ホスト機にのみデータを保存し、院内 LAN (無線、有線共) 上で、複数台の PC や iPad で同時に操作することが可能。方法は Windows、または、Mac の PC に FileMaker Pro のインストールが必要 (ユーザー側で購入)。詳細は、制作室が個別相談に対応。
 ■※6：Menu321 の提案履歴を患者ごとに保存するデータベース機能は Menu321Pro* で対応。
 ■※7：作成文書保存機能あり。リスト表示可。運用はプリントアウトシカルテと共に管理がおすすめ。
 ※FileMaker Pro, FileMaker Go は、Claris International Inc. の登録商標です。
 ※Microsoft, Windows は、米 Microsoft Corporation の米国、及び、その他の国における登録商標です。
 ※Macintosh は、米 Apple Computer 社の米国、及び、その他の国における登録商標です。

■歯の治療メニュー制作室

□開発：特定非営利活動法人キャッチボールクラブ □制作：株式会社スタジオクララ
 〒532-0024 大阪市淀川区十三本町3丁目4番24-104号 FAX.06-6308-7050 E-mail: kuramitsu@menu321.com
 Ver.20240423 Copyright © NPO Catch Ball Club. All rights Reserved. Made in Japan



MenuMaker v1, v3 Menu321 v2, v3

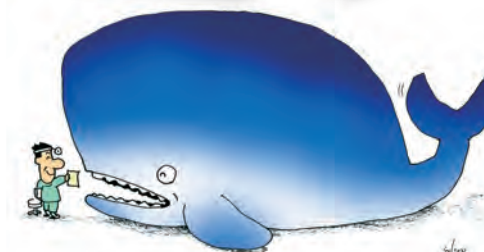
for Win & Mac & iPad

<スタンダード版> <アドバンス版> 共通

ユーザーズガイド

MenuMaker
治療説明用メニュー作成アプリ

Menu321
治療咬込み提案書作成アプリ



Webサイト



menu321.com 検索

歯の治療メニュー制作室

MovieGuide



YouTube

1 セットアップ

はじめに

●【Menu321】【MenuMaker】は、Windows、Mac、iOS 環境でご利用いただけます。各 OS のバージョンに対応したプログラムをご用意しています。

●また、それぞれ機能別に「スタンダード版(標準版)」とアドバンス版(拡張版)があります。無理なく無駄なくご利用いただくためには、スタンダード版からのご利用をお勧めしています。途中からのアップグレードも可能ですので、活用範囲に応じてご選択ください。

●同じ OS のパソコンであれば、複製利用が可能です。必要に応じて複数台にコピーしてお使いいただけますが、作成データは共有できません。説明のために複製をお考えの場合は、パターン登録(後述)後にデータフォルダ一式を複製するか、PDF ファイルを作成(後述)すれば、OS に関係なく簡単に配布し活用することができます。

動作環境	FM14 仕様 *FM=FileMaker Pro	FM16 仕様	FM18 仕様
Windows	Windows 7 (SP1) Win14: Windows 8, 8.1 Windows 10 (32bit)	Windows 7 (SP1, 64bit) Win16: Windows 8.1 (64bit) Windows 10, 11 (64bit)	Win18: Windows 11 (64bit) ※Windows11 要注意 VCRUNTIME 不足の場合 vc_redist.x64.exe をインストール
Mac	Mac14: Mac OS X 10.9, 10 Mac OS X 10.11	Mac16: Mac OS X 10.12~10.15 Mac OS 11, 12	
iOS / PC	iPad: FileMaker Go 準拠 (ダウンロード無料) / PC: FileMaker Pro12~19 準拠 (インストール有料)		

※FileMaker Go は iPad 【App Store】で検索し、最新バージョン(2022/2 現在 Ver.19)を入手してください。
※上記記載内容は、アップグレードのため予告なく変更する場合があります。最新情報をお確かめください。

■プログラムのインストール

●インストールは、お届けする CD-ROM 内のプログラムデータをパソコン(以下、PC)のハードディスクにコピー＆ペースト(貼り付け)するだけです。※なお CD 内のデータを起動しても編集ができません。

●また、ご要望に応じて、ダウンロード方式でデータをお届けします。その際は、圧縮ファイルですので、必ず解凍後のフォルダ一式を PC のハードディスクの別な場所にコピー＆ペースト(貼り付け)します。

※なお、圧縮フォルダ内のデータを起動しても編集できません。※本紙 p.12 参照

□Windows

●CD-ROM からの場合

①入手した CD-ROM を PC のドライブにセットし、CD-ROM 内の〔_Menu〇〇_Winxx〕フォルダをコピーする。
②PC のハードディスクの好きな場所に貼り付ける。

●ダウンロードの場合

①URL を指定のアドレスにメニュー制作室から送信する。ダウンロード実行。
②PC に【保存】し、【フォルダを開く】を選択し、〔_Menu〇〇_Winxx〕フォルダを選択してコピーする。
③PC のハードディスクの好きな場所に貼り付ける。

□Mac

●CD-ROM からの場合

①入手した CD-ROM を PC のドライブにセットし、CD 内のフォルダ〔_Menu〇〇_Macxx〕をコピーする。
②PC の「書類」フォルダにペーストする。

●ダウンロードの場合

①URL を指定のアドレスにメニュー制作室から送信する。ダウンロード実行。
②自動的に「ダウンロード」フォルダに保存された〔_Menu〇〇_Winxx〕フォルダをコピーする。
③PC の「書類」フォルダにペースト。
※MacOS 10.13 以降の場合、起動注意

■セットアップ解説動画

YouTube



□iPad

※まず、App Store で FileMaker Go をインストールする(無料)。

●ダウンロードの場合

iPad で URL をメール受信する。iTune を起動した PC と iPad を直接、iPad でダウンロードし、接続し、_Menu〇〇_xx.fmp12 自動的にインストールが完了する。ファイルを FileMaker Go に移植。

■

インストール解説：B



■プログラムの起動：「起動ファイル」と「メインファイル」

動作環境	■FM14 仕様	■FM16 仕様	■FM18 仕様
起動ファイル □アイコン □ファイル名 for Win for Mac	 Win14 Mac14 _MenuMaker.exe / _Menu321.exe _MenuMaker.app / _Menu321.app	 Win16 Mac16 iPad _MenuMaker_v1.fmp12 / _Menu321_v2.fmp12 / *_v3	 Win18 Mac18 iPad _MenuMaker_v1.fmp12 / _Menu321_v2.fmp12 / *_v3
メインファイル for Win, Mac for iPad	_MenuMaker_v1.fmp12 / _MenuMaker_v3.fmp12 _Menu321_v2.fmp12 / _Menu321_v3.fmp12 MenuMaker_v1.fmp12 / _Menu321_v2.fmp12 / *_v3		

※上記は「すべてのファイル名、拡張子を表示」しています。「Finder 環境設定」で確認ください。

●Windows の起動：各起動ファイル、または、ショートカットを作成してダブルクリックします。

※対処：Windows11 で VCRUNTIME 不足で起動できない場合は、「ごらんください」フォルダ内の「VCRUNTIME」フォルダから vc_redist.x64.exe をインストールします。

●iPad の起動

①まず、FileMaker Go のアイコンをタップしてアプリを起動します。
②画面下の「デバイス」をタップすると、インストール完了ファイルが表示されます。起動したいファイルをタップします。



■バックアップについて

●スクリプトメニューから「全バックアップ」を選択。※本紙 p.8、p.13 参照

■プログラムの終了※本紙 p.4 参照

●Mac の起動：各起動ファイル、または、起動ファイルのエイリアスを作成してダブルクリックします。※マウス操作推奨

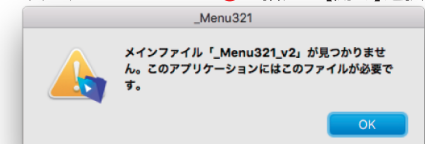
※対処：ダウンロードによりインストールした場合で、起動時に次のメッセージがでたら、まず【OK】します。



今度は、「起動ファイル①」を右クリックして【開く】を選択して起動させます。*control + 右



次に、メインファイル②を指定し【開く】選択



2 メニュー作成の基本操作（選択・配置・登録）

基本操作は、【Menu321】【MenuMaker】共通です。ここでは、【Menu321】を例に操作の概要を解説します。より詳しい内容は、「操作説明書(PDF)」をご覧ください。

■初期画面(起動画面)

●作成画面への移動は、2つの【ボタン】を選択します。

■【歯の治療メニュー】ボタン…

クラウン、インレー、コア等の作成

■【入れ歯のメニュー】ボタン…

総入れ歯、部分入れ歯、インプラントの作成

■【メニューリスト】ボタン…

すべての短冊データの閲覧と検索

□【医院表示】ボタン…終了

※作成画面に配置されたロゴマーク確認

▼Menu321 の初期画面



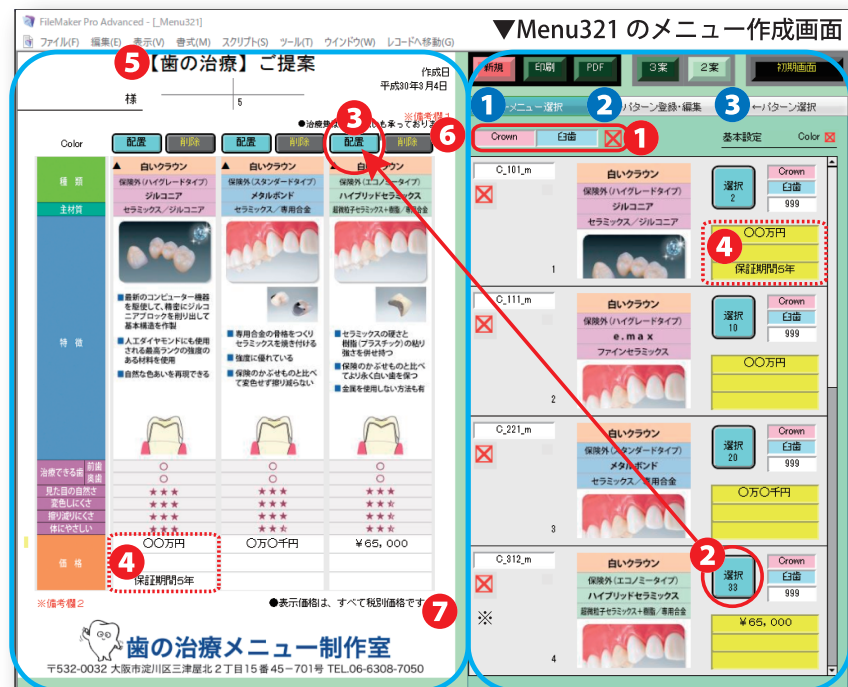
■メニュー作成画面

●作成の基本は、選択エリアで短冊を【選択】

②し、配置エリアに【配置】③するだけです。

YouTube の動画解説
操作の流れがわかります

Menu321_movie 検索



----- 配置エリア ----- | ----- 選択エリア -----

配置エリアの操作

●配置エリアのサイズは、【Menu321】は A4 縦、【MenuMaker】は A3 横です。

●配置エリアで編集可能なフィールドは、タイトル欄、日付欄、価格欄、備考欄です。【Menu321】は、カルテ No、氏名、部位欄も編集できます。

③短冊【配置】ボタン

※【削除】ボタンは、配置取り消し

※【▲】は短冊コピー。別枠【配置】可

④価格欄

※配置エリアの価格欄はキー入力で編集可

⑤タイトル欄

※キー入力で編集可。タイトル登録機能有

⑥備考欄 1 入力フィールド

※キー入力で編集可。文章の登録機能有

⑦備考欄 2 入力フィールド

※キー入力で編集可。文章の登録機能有

選択エリアの操作

●選択エリアでは、3つの【タブ】①②③操作を行います。

1【メニュー選択】タブの操作

①カテゴリ設定欄

※選択エリアにリストアップするメニュー短冊のカテゴリをクリックして選択します。



※「X」チェック抽出指定・・・▲
この抽出指定は、各メニュー短冊の個別のチェック欄の「X」を検索します。クリックして解除すれば、リスト表示されません。使用しない短冊のチェックを解除してお使いください。抽出指定欄のチェックを解除すると除外した短冊が表示されます。

②短冊【選択】ボタン

④価格欄

※選択エリアで設定した価格は自動で転記
※黄色枠（3段）それぞれをクリックするとプルダウンメニューが表示されます。例えば保証期間など、あらかじめ設定する場合は、最下段に表示される「編集」を選択して選択項目を追加することができます。

2【パターン登録・編集】タブの操作



⑧パターン【インポート】ボタン

※配置完了後、または、作成途中に保存のためにパターン登録できます。
※パターンカテゴリを設定した後にメモ欄には覚書を入力し【登録】ボタンをクリックします。自動的にパターン選択タブを表示します。

3【パターン選択】タブの操作



⑨パターン【選択】ボタン

※パターン分類設定後に作成したい提案パターンを選択します。登録済データが配置エリアに表示されます。
※【確認】ボタンは、パターン編集画面に移行して変更・削除ができます。



3 PDF ファイル作成

MenuMaker の場合は、レイアウトが A3 サイズですので、プロパティや用紙設定で、A3 サイズ横に設定するように確認をお願いします。

Windows

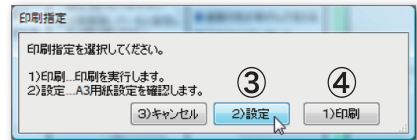
●Windows10以降は、【印刷】ボタンをクリックし、再度【印刷】を選択して、プリンタを「Microsoft Print to PDF」を選択して【OK】ボタンをクリックします。

●Windows10以前の場合、「ごらんください」フォルダ内の「PDF_OfficePrint」をインストールしてご利用下さい。

OfficePrint について

●OfficePrint操作概要：

- ①メニューを作成します。
- ②作成後【印刷】ボタンをクリックします。



③印刷指定ウィンドウで【設定】を選択します。プリンタを「OfficePrint」に変更し、用紙サイズ設定をMenuMakerはA3横Menu321はA4縦に設定し【OK】します。
④作成画面に戻り、改めて【印刷】ボタンをクリックし、今度は印刷指定で【印刷】を選択します。プリンタの名前「OfficePrint」と、【プロパティ】で用紙設定を確認して【OK】します。

⑤オレンジ色の「OfficePrint」操作パネルが表示されますので、所定の【変換】操作を行います。

【保存設定】ボタン

【変換開始】ボタン



※保存先として、PCの「ドキュメント」に「PDF」フォルダの作成をおすすめします。

Mac

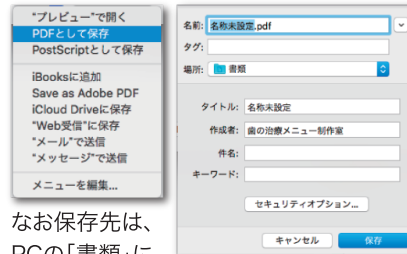
●MacのOSには、印刷時にPDF作成する機能が標準装備されています。

●通常操作：Menu321、MenuMaker共

- ①メニューを作成します。
- ②作成後【印刷】ボタンをクリックします。



③プリントウィンドウ内の【PDF】ボタンをクリックします。(例えば、PDFとして保存)



なお保存先は、PCの「書類」に「PDF」フォルダの作成をおすすめします。

iPad

●通常操作：iPadでは、FileMakerGoに標準のPDF作成機能がありますので、Menuツールに配置された【PDF】ボタンをクリックします。

●【画面表示】【メール添付】【保存】選択可。
※保存する時はそれぞれの環境に応じ自由に選択します。

※メールで送信／iBooksにコピー／Doropboxにコピー／PrinterProにコピー等ファイル名を変更してから保存します。



4 プリンタ設定：縮小印刷 MenuMaker A3⇒A4

●ここでは、特に、【MenuMaker】の印刷時における A3 サイズから A4 サイズへの縮小印刷の操作の概要について解説します。

●印刷設定は、各種のプリンタごとにドライバ設定が異なります。操作事例をまとめてご案内しています。Web サイトや QR コードからダウンロードして、操作を類推していただくか、各メーカーのサービス窓口にお問い合わせください。※本紙 p.13 参照

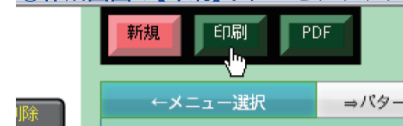


縮小印刷のポイント

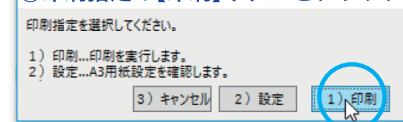
●【MenuMaker】のレイアウトは、A3 サイズです。A4 サイズに縮小印刷する際は、「原稿用紙サイズ A3」⇒「出力用紙サイズ A4」と設定します。
※「用紙サイズ」という言葉が2種類ありますのでご注意ください。

□基本操作 ①～⑤ (※以下の事例は、Canon プリンタの場合)

①作成画面の【印刷】ボタンをクリック

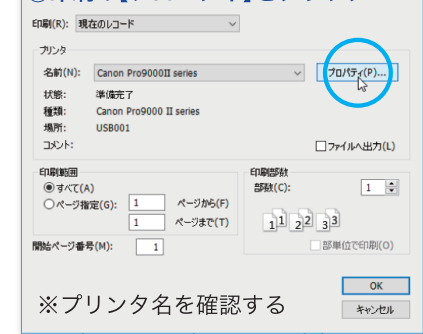


②印刷指定の【印刷】ボタンをクリック



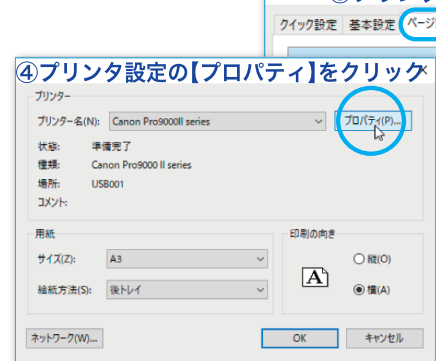
※ファイルメニューから【印刷】でも OK

③印刷の【プロパティ】をクリック

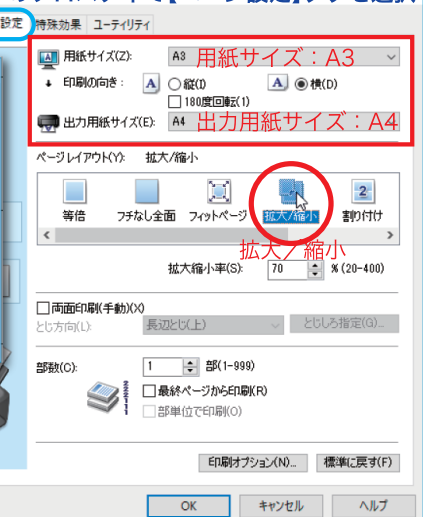


※プリンタ名を確認する

④プリンタ設定の【プロパティ】をクリック



【ページ設定】タブでページレイアウトを「拡大／縮小」を選択すると用紙サイズと出力用紙サイズ指定欄が表示されます。



5 スクリプト：拡張機能

▽スクリプトメニュー (Windows画面)

Win と Mac のスクリプトメニューは、プログラム起動後の画面上段の【スクリプト】をクリックすると表示されます。

iPad のスクリプトメニューは、画面上の◎ボタンをタップし【スクリプト】を選択すると表示されます。

☆☆☆

■対象レコード削除：

主に「メニューリスト」画面で検索抽出した後に、対象のデータをすべて削除する時に使用します。

通常は、メニューリストのデータごとの【削除】ボタンで個別に削除します。※ご注意／削除すると元に戻せません。

■全バックアップ_to【ファイル名】

【MenuMaker_BU.fmp12】

【Menu321_BU.fmp12】

プログラムデータのバックアップを作成するスクリプトです。価格データを更新したり、パターンを追加登録した時など、随時バックアップします。⇒保存場所：起動ファイルと同じディレクトリ内です。※以下同様。

■検索バックアップ_to【ファイル名】

必要な短冊データのみインポートして共有する場合など、メニューリスト画面でチェック抽出したあとに、インポート用の BU ファイルを作成します。

■パターンバックアップ_【ファイル名】

パターンデータのみインポートして共有する場合に、個別パターンインポート用の BU ファイルを作成します。

■BU データインポート_from【F名】

BU ファイルの短冊データをインポートします。プログラムのアップグレードの際などに使用するスクリプトです。現在まで使用していたデータ（価格データやパターンデータなど）を再活用できます。なお、インポートする際に差し替えるか、追加するかを選択できます。⇒配置場所：BU ファイルを配置する場所は、起動ファイルと同じ。(以下同様)

スクリプト	ウィンドウ(W)	レコードへ移動(G)
対象レコード削除		Ctrl+1
全バックアップ_to Menu321_BU		Ctrl+2
検索バックアップ_to Menu321_BU		Ctrl+3
パターンバックアップ_Menu321_pattern		Ctrl+4
BUデータインポート_from Menu321_BU.fmp12		Ctrl+5
BUパターンインポート_from Menu321_BU.fmp12		Ctrl+6
BUデータインポート_from MenuMaker_BU.fmp12		Ctrl+7
個別データインポート_from Menu_inport_xx.fmp12		Ctrl+8
個別パターンインポート_from Menu321_pattern.fmp12		Ctrl+9
ユーザー登録_from Menu321_User.xx.fmp12		Ctrl+0
アップグレード_from Menu321_BU.fmp12		
BUファイル変換 <fp7⇒fmp12>		
ファイル変換 <fp7⇒fmp12>		
リンク_操作説明書PDFファイル		
リンク_短冊一覧PDFファイル		
リンク_メニュー制作室Webサイト		

■BUパターンインポート_from【F名】

BU ファイルのパターンデータをインポートします。パターン共有時に使用。

■BU データインポート_from 姉妹品

異なるプログラムのデータ共有の際に使用します。

■個別データインポート_from【F名】

【Menu_inport_xx.fmp12】(共通)

新メニュー追加時、メニュー制作室からの送付、または、Web サイトからのダウンロードデータをインポートします。

■個別パターンインポート_from【F名】

【Menu321_Pattern.fmp12】

パターン BU ファイルから取込

■ユーザー登録_from【ファイル名】

【MenuMaker_User.fmp12】

【Menu321_User.fmp12】

ユーザー情報(医院名、住所、連絡先、ロゴ等)を変更する場合に、制作室より送付するファイルをインポートします。

※アップグレード：スタンダード間のみ。

■リンク_操作説明書 PDF ファイル

■リンク_短冊一覧 PDF ファイル

■リンク_メニュー制作室 Web サイト

ネット環境下であれば、ダウンロードや Web サイトに直接アクセスします。

6 Web サイト：関連情報・ダウンロード

歯の治療メニュー制作室



menu321.com 検索

●【Menu321】関連と【MenuMaker】関連の情報を公開している Web サイトです。

●関連資料のダウンロードができます。

●ユーザーサポートとして新しい短冊の提供も行っています。

☆☆☆

■ダウンロード案内■

①「短冊一覧」ダウンロードはこちらから
※全短冊を閲覧可

②「制作案内1」パンフレットダウンロード

③「制作案内2」パンフレットダウンロード

④アプリ解説動画

1. 基本操作
2. アドバンス版
3. インストール

⑤ユーザーズガイド
※本ガイドのA4判をダウンロード可

⑥追加短冊ファイルのダウンロードページへ

⑦アプリ動作環境概要
※PC・OS スペック等

⑧同意を増やす仕組み
問診プログラム案内等

☆☆☆

⑨短冊一覧：A4, 20 頁

カテゴリ別に 200 以上

⑩制作案内1：A4, 8 頁
A3 テンプレート

⑪制作案内2：A4, 8 頁
A4 テンプレート



7 編集機能拡張＜アドバンス版＞の操作

スタンダード版の基本機能に加えて、短冊内容が編集できる拡張機能とは、マウス操作やキー入力で行える簡単操作の「部分編集」と、画像ソフトを利用して短冊データを変更できる「全体編集」が可能です。なお、アドバンス版での画像編集は、「画像ファイルの挿入」までです。全体編集の画像処理には、別途、画像編集ソフトと編集技術が必要です。なお、アドバンス版のサポートはメニュー制作室が担当します。

■【編集】ボタン配置

- アドバンス版ならではの編集操作画面への移動は、
1)メニュー作成画面から各短冊ごとの【編集】ボタンを選択します。
2)メニューリスト画面から各短冊ごとの【編集】ボタンを選択します。

YouTubeの動画解説



■編集操作画面

Menu321_movie 検索

Standard ● Advanced

白いかぶせもの
自費
ジルコニアクラウン
セラミックス/ジルコニア

白いかぶせもの
自費
ジルコニアクラウン
セラミックス/ジルコニア

特徴

●コンピューター機器を駆使して、精密にジルコニアブロックを削り出して基本構造を作成します。
●人工ダイヤモンドにも使用される最高ランクの強度の材料を使います。
●自然な色合いが再現できます。

特徴欄編集

テキスト欄
●コンピューター機器を駆使して、精密にジルコニアブロックを削り出して基本構造を作成します。
●人工ダイヤモンドにも使用される最高ランクの強度の材料を使います。
●自然な色合いが再現できます。

画像挿入1
画像消去1
Photo1

画像挿入2
画像消去1

※最上段の枠は、デンチャー短冊用

短冊挿入

編集有

補助ボタン ① 編集済検索 ② 消去 ③ 編集

1) メニュー作成画面の【編集】

新規 印刷 PDF 3案 2案 1 初期画面

メニュー選択 ⇒ バターン登録・編集 ← バターン選択

Crown 白歯 基本設定 Color

C_101_m

白いかぶせもの
保険外(ハイグレードタイプ)
ジルコニア
セラミックス/ジルコニア

選択 1

Crown 白歯 999

メニューリスト カテゴリー検索⇒ 検索実行 全て表示 Check 抽出 初期画面 ソート

ID 1 C_101_f

Category Crown 前歯 999

Price_1

Price_2

Price_3 1292 293

編集 編集済検索

複製 削除

ファイルパス

2) メニューリスト画面の【編集】

●種類・主材質欄の部分編集

- ①テキスト入力フィールド
※「編集 ...」は選択テキスト作成が可能
- ②背景色選択フィールド
※Color No<1～5>を選択

●特長欄の部分編集

- ③マスキング指定フィールド
※<1～8>で空白欄を選択
- ④画像挿入フィールド1
※特徴欄の上揃えで画像を挿入
※右クリックでフィールド直接入力可
【貼り付け(ペースト)】して挿入
- ⑤画像挿入フィールド2
※特徴欄の下揃えで画像を挿入
※右クリック(1と同様機能)
- ⑥テキスト入力フィールド
※キー入力可。改行や書式指定を応用

●比較・評価欄の部分編集

- ⑦★の数フィールド
※プルダウン項目を選択する

●短冊画像の全体編集

- ⑧短冊画像フィールド
※右クリックで画像ファイルを選択可
1)【コピー】し画像編集ソフトで編集
2)【短冊挿入】でファイル※を挿入
※画像解像度 150dpi, JPG 形式で保存

■アドバンス版の特徴

●スタンダード版とアドバンス版との違いは、この【編集】ボタンがあるかないかの違いといえます。短冊内容を一部変更して使いたいとのご要望に対応してアップグレードしたもので、その他の通常の作成機能や操作画面に違いはありません。

●その他のアドバンス版の特徴は、ネットワーク機能によるデータ共有が可能となることです。但し、ネットワーク使用には、FileMaker Pro のデータベースアプリが必要です。※本紙 p.16 参照
※複数台の PC での使用やタブレット(iOS, Android 共)でのデータ共有には PDF ファイル活用をおすすめします。

□補助ボタン

- ①【編集済検索】ボタン：
すべての短冊データから、編集済の短冊を検索します。メニューリストで確認できます。
- ②【消去】ボタン：
表示している短冊データの編集箇所内容をすべて消去します。部分的に消去する場合は、個別に操作します。
- ③【編集】ボタン：
編集欄を開示します。編集箇所があれば開いたままとなります。



8 よくあるご質問：基礎編

[menu321.com](#) [検索](#)

●最新の関連資料は、PDF でご提供しています。入手方法は次の通りです。

- ①納品時のCD内の「ごらんください」フォルダに付属しています。…… **C**
- ②プログラムを起動しスクリプトメニューからダウンロードできます。…… **S**
- ③メニュー制作室のWebサイトからダウンロードできます。…… **W**
- ④本ユーザーズガイドに掲載のQRコードからダウンロードできます。…… **QR**

☆ ☆ ☆

■インストール方法が知りたい…

□Windows, Macの場合 **C**

●CD-ROMでお届けしている場合は、CD内のデータをフォルダごと、お使いのPCのハードディスクにコピーしてください。

●ダウンロードをご希望の場合は、メニュー制作室よりダウンロードURLお知らせメールを送付いたします。

□iPadの場合

●App Storeで、アプリ「FileMaker Go」を検索し、ダウンロードしてインストールします(無料)。

●その後は二つの方法があります。

- ①iTuneを起動してiPadをPCに接続し、CDデータをiPadにコピーする方法
 - ②制作室のWebサイトから、iPadに直接ダウンロードしてインストールする方法
- ※②の場合は、事前にアドレスをご連絡ください。詳しくは、CD「ごらんください」フォルダ内のインストールマニュアル参照。

※概要は、本紙P.2～3参照

■メニュー短冊一覧が欲しい…

■操作説明書が欲しい… **C S W**

□印刷物での提供は終了いたしました。

新しい技術や材料、保険制度に対応した最新の資料をPDFでご覧ください。



短冊一覧



操作説明書

■他のPCにもインストールしたい…

●Menu321、および、MenuMakerは、自医院での使用に限り、CD-ROMデータをコピーしてお使いいただけます。ですが、ネットワーク仕様ではありませんので価格

欄への入力などデータは共有されません。そのために、他のマシンへのコピーは、CD-ROMの初期データのコピーではなく、ご利用中のデータをフォルダごとコピーしてお使いになることをおすすめします。

■PDFファイルを作成したい…

□Windows **C W**

●Windows10以降では、【印刷】ボタンをクリックし、再度【印刷】を選択して、プリンタを「Microsoft Print to PDF」を選択して【OK】ボタンをクリックします。

●Windows10以前の場合は、CD付属の「ごらんください」フォルダの「PDF_OfficePrint」を操作説明書をご覧ください。

※概要は、本紙P.6参照

for Windows

■PDF 作成



□Mac

●MacのOSには、印刷時にPDF作成する機能が標準装備されています。

●PDFファイルを作成するには、

- ①メニュー作成後【印刷】ボタンをクリックすると、プリント設定のウインドウ内に【PDF】ボタンがありますので選択し、まずはプレビューを実行します。(通常操作)
- ②保存する時には、「別名で保存する」を選択し、わかりやすいファイル名に変更して保存します。※概要は、本紙P.6参照

□iPad

●iPadでは、FileMakerGoに標準のPDF作成機能があります。

●PDFファイルを作成するには、

- ①Menuツールの【PDF】ボタンをクリックします。(通常操作)
- ※なお、MacOSの場合と同様、【印刷】ボ

タンからでも同様に操作できます。

②保存する時は、それぞれの環境に応じて、「メールで送信」、「iBooksにコピー」、「Doropboxにコピー」、「Printer Proにコピー」等を選択し、ファイル名を変更して保存します。※概要は、本紙P.6参照

■バックアップ方法を知りたい

□簡易のバックアップは…

●スクリプトメニューから「全バックアップ_to Menu321_BU」を選択します。

⇒起動ファイルと同じディレクトリ(場所)に「_Menu321_BU」というファイル名のデータが保存されます。

□保管のバックアップは…

●例えばWindows10(Mac OS 10.13)対応の場合は、「_Menu321_Win16(Mac16)」フォルダを右クリックしてコピーし、外付けHD、または、USBメモリなどに貼り付け(ペースト)して保存します。

■最新の短冊データを追加したい

□新しい短冊を追加した時… **W**

●歯の治療メニュー制作室のWebサイトに短冊データをアップしています。必要な短冊データのファイルをダウンロードして、お使いのツールにインポートして追加できます。(無料)

■太文字書体をインストールしたい

□サンプルフォントあります。 **C**

●お届けしたCDの「ごらんください」フォルダ内に、「Font_for_menu」フォルダがありますのでご覧ください。

●インストール方法は、Win、Mac共、

- ①それぞれのフォントファイルをダブルクリックすると、書体参照画面が開きます。
- ②必要と思われるフォントの【インストール】ボタンをクリックすればOKです。

■A4/A3サイズの違いについて

□A4/A3判とは…

●プリントアウトの用紙サイズのことです。

①A4サイズは、210×297mm。

②A3サイズは、297×420mm。

●Menu321の出力用紙設定はA4サイズで、普及型のインクジェットプリンタ(A4対応)で出力可能です。

■縮小印刷がうまくできない

□縮小印刷設定について… **C W**

●MenuMakerの原稿はA3サイズのため普及型のインクジェットプリンタ(A4対応)で出力するには、縮小印刷で行います。

●メニュー制作室としては、事例として設定方法をお伝えしています。本紙P.7参照

※縮小印刷の設定方法は

■印刷設定

お使いのプリンタによって異なります。正しくは、各プリンタのマニュアルか、各メーカーに直接お問い合わせください。



★そもそも縮小印刷が出来ないプリンタ機種があります。ですが…ご安心ください。

この場合も含めて、最も確実な縮小印刷対策は、PDFファイルを作成して印刷する方法です。印刷指定のウインドウで「出力用紙サイズに合わせる」を選択するだけです。

■医院ロゴマークを配置したい

●Menu321、MenuMakerでは、医院名表示のスペースに医院オリジナルのロゴマークを配置できます。必要時に「ロゴマーク配置」のご希望をお知らせください。

●医院名表示スペースは、縦20mm×横140mm以内です。オリジナルのロゴマークをこの枠内に収まるよう制作室にてデザイン加工いたします。(有料)

●通常、ロゴマークデータは各医院より画像データを支給いただきます。オリジナルデータをお持ちでない場合は、データの書き起こしもお手伝いします。その際は、印刷物、または、ホームページのデータを元に書き起こすかもお知らせください。書き起こしが困難な場合はご容赦ください。

●ロゴマーク配置ありの場合は、校正ファイルをメール添付してご確認いただきますので、ご依頼の際は、確認用のメールアドレスをご記入ください。

●一度作成した医院表示用データは、他のデジタルツールでも共通で使用します。そのために追加費用は不要です。但し、連絡先やロゴマークの変更時には、再度、作成費が必要です。

※ロゴマークデータ：あり/なし 縦20mm×横140mm以内
医院名表示スペース
 〒012-3456 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇目〇〇-〇〇 TEL.000-00-0000



9 よくあるご質問：応用編

menu321.com 検索

■ロゴや連絡先が変更になった

□ユーザー登録変更ファイルを送ります

●移転に伴う住所や電話番号の変更や、新しく医院のロゴマークを作成した時などは、医院表示データを修正し変更ファイルをメール添付で送付しますので、ご利用中のプログラム上ですぐに反映できます。

●送付する変更ファイルは、以下の通り

☆「_Menu321_User_xx.fmp12」

☆「_MenuMaker_User_xx.fmp12」

●操作方法は、スクリプトメニューから「ユーザー登録_(変更ファイル名)」を選択

※費用：ロゴマーク配置データ作成費

■CD-ROMを紛失した(再出荷)

■新しいパソコンで動作しない

■最新バージョンが欲しい

□新しいCD-ROMをお届けします

●上記の場合は、いずれも、各医院の医院表示データを配置した最新データを作成してお届けします。ダウンロードをご希望の場合にも対応します。なお、随時、使用するパソコンのOSを確認し、最適なバージョンのデータに差し替えてお届けします。

※費用：データ作成費+出荷手数料

■旧バージョンで作成したデータを新バージョンで使いたい

□スクリプト(拡張機能)で可能です

●この場合、新バージョンには新短冊データが含まれていますので、全てを入れ替えるのではなく、旧バージョンで作成した必要なデータのみ抽出して「追加で取り込む」方法をおすすめします。

●例えば、Menu321の価格欄に入力済みの短冊だけを、新しいバージョンに移す作業手順は・・・

①旧データの【メニューリスト】で、必要短冊を【チェック(x)抽出】します。

※この際に、短冊ごとに設定できるソート番号「999」を消去しておきます。

②スクリプトメニューで「検索バックアップ」を選択します。

※保存された「_Menu321_BU」ファイル

を、新バージョンのフォルダにコピー&ペースト(貼り付け)します。

③新バージョンを起動しスクリプトメニュー「BUデータインポート_Menu321」を選択し、次に【追加する】を選択します。

※パターン登録データの取り込みも可。

■MenuMakerの短冊データをMenu321に取り込みたい

□バックアップデータをインポートします

●前項作業と同様に、まずMenuMakerで①と②を実行後に、保存された「_MenuMaker_BU」ファイルを新フォルダにコピー&ペースト(貼り付け)します。

③Menu321を起動し、スクリプトメニューから「BUデータインポート_MenuMaker」を選択。

■アドバンス版って何?

●アドバンス版の特徴は、短冊ごとに編集できる機能と、ネットワーク環境下でデータ共有が可能です。詳細は、ツール概要の比較表をご覧ください。※本紙P.16参照

●アドバンス版をフル活用するには、パソコンの専門技術(Photoshop等の画像作成アプリとスキル)が必要です。画像編集のパソコンスキル不要の部分編集だけの使用範囲でOKの場合は問題ないのですが、新規に短冊全体を作成する高度な画像編集を必要とする場合は、結果的に活用できないことが予測されます。現在、アドバンス版をご提供する場合、この部分編集の範囲や全体編集の課題にご納得いただいた上でご提供しています。

●なお、アドバンス版に関するご案内、および、活用支援は、すべて歯の治療メニュー制作室が、直接、担当させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

■画像編集スキル不要の部分編集操作

①短冊ごとの名称を変更したい

□P.10参照：まず、②で元データの名称欄をマスキングする色を選択します。次に、変更したい名称を①に入力します。文字サイズやカラーなど書式メニューで変更できます。※本紙P.10～11参照

②星の数を3つから5つに増やしたい

□P.10参照：比較評価欄⑦の該当する項目をクリックします。変更したい数値や記号を選択します。1～5、◎・△・×など。

③特徴欄の本文を変更したい

□P.10参照：まず③で元データの特徴欄をマスキングする場所を指定します(1～8)。例えば、上段の写真を残して、本文のみ変更したい場合は「4」を選択します。次に、本文を⑥に入力します。文字サイズやカラーなど書式メニューで変更できます。文字の位置は、改行しながら確定します。

④写真を差し替えたい

□P.10参照：写真の差し替え方は2通り。(解像度150dpi)

1) 使いたい写真の短冊を【複製】⑧し、①～③を行います。

2) 使いたい写真をキャプチャー※して、④の【画像挿入1】をクリックします。※キャプチャー方法は、OSにより異なります。

■画像編集スキル必須の全体編集操作

⑤医院のオリジナル短冊を追加したい

□P.10参照：まず、⑧で右クリックして短冊データをコピーし画像編集アプリに貼り付けます。次に、編集後の短冊データを⑧の【短冊挿入】ボタンをクリックし取り込みます。画像の解像度は150dpiに設定したJPG形式ファイルで保存します。

■ネットワーク環境構築について

⑥iPadを端末にネットワークで使いたい

□ネットワーク構築には、まずホストPCに「FileMakerPro」のインストールが必要で、す(市販を購入)。アドバンス版のデータは、ホスト機にのみインストールします。

□Wi-Fi環境があれば、ホスト機で起動したアドバンス版を共有ファイルとして、iPadで閲覧・編集ができます。

■スタンダード版からアドバンス版にアップグレードする方法は



□1:申込方法/

例えば、Menu321_v2(スタンダード版)をご利用のユーザー様の場合は、アドバンス版との差額でご利用いただけます。※申込書の利用中ツールMenu321に☑してお申込みください。



2022年よりMenuMaker スタンダード版からMenu321 アドバンス版へのアップグレードも差額で提供できることになりました。

□2:データ更新/※Menu321の場合

①スタンダード版でバックアップファイル「Menu321_BU.fmp12」を作成し、アドバンス版のフォルダにコピー&ペースト(貼り付け)します。

②アドバンス版を起動し、スクリプトメニューから「BUデータインポート」を選択し【既存データを消去する】を選択します。

■Menu321とMenuMakerの両方アドバンス版にすべきか

□編集データの共有を考えるならば、両方をアドバンス版にする必要があります。

■患者別の提案履歴を管理したい

□Menu321_Proに限り可能です。

●提案の履歴を管理するためには、患者カルテ番号を元にしたデータベースが必要となります。スタンダード版・アドバンス版には、データベース機能が無くできません。

●履歴管理を可能とするプログラムとして【Menu321_Pro】がありますが、単体プログラムとしては提供しておりません。

■【Menu321】【MenuMaker】の使用に際して

◎使用目的の制限：【Menu321】および【MenuMaker】に含まれるデータおよびプログラムは、ご購入いただいた医院での治療説明のためにデータ使用を許可するもので、その他の目的のための複製、転用、販売等の利用を固く禁止しています。

◎著作権：【Menu321】、および、【MenuMaker】に含まれる補綴写真と説明原稿は、和田精密歯研株式会社の著作物であり、各種短冊の画像データ、管理プログラム、および、関連資料は、特定非営利活動法人キャッチボールクラブの著作物です。

